

本校では、近年取りざたされる教職員による不祥事案を受け、「不祥事根絶に向けた対策」を個々の教職員の意識の向上・変革及び同僚性を高める目的で、学年ごとに検討しました。全教職員で確認を行い、また PTA 役員からも助言をいただき、学校としての不祥事根絶に向けた対策を以下のようにまとめました。

今後も、年間を通して、コンプライアンス計画のもと研修を重ね、誰もが安心できる学校を目指して様々な活動に取り組んでまいります。

県立水戸特別支援学校長 高山 忠昌

＜不祥事根絶に向けての対策＞

体罰について	・職員間で声を掛け合い、複数の職員で児童生徒の気持ちを考えながら指導にあたる。 ・違和感を感じたり、いつもと違う状況に気付いたりした時には、すぐに複数の目で確認し、指導・支援を代わるとともに、管理職に報告する。 ・閉鎖的な空間をつくらないよう、教室の環境を整えたり、複数の教員が関わったりできる体制を整える。
盗撮について	・盗撮は犯罪であり、絶対にしてはいけないと意識できる環境をつくる。 ・盗撮できる環境を作らないためにも、日頃から整理整頓を心掛け、更衣室やトイレ等はこまめに点検する。 ・置いてあるものを時々移動して、違和感に気付きやすくする。 ・小型カメラ等の設置がないか、教職員のロッカー室や職員用トイレ等も含め、予告なしで点検する。
わいせつについて	・重大な犯罪であり、身分上、刑事上、民事上の責任を問われることについて、研修等で取り上げ意識していく。 ・自分の行動がどう見えるかを常に意識して支援を行う。他の教職員の行動で気になることがあれば、管理職に報告・相談する。 ・悩みを話せる風通しのよい職場環境にする。 ・着替えの時等、大人対大人の場合もあり得ることを意識し、注意する。
情報漏洩について	・個人情報やテスト採点等の情報は、学校のパソコンでのみ取り扱う。 ・職場での円滑なコミュニケーション環境を作り、情報管理についても言葉を掛け合えるようにする。 ・学校で撮影した画像や動画の個人使用、校外への持ち出しはしない。 ・配付物等のダブルチェック、写真や動画の取り扱い、机上の整理等、日ごろから職員間で声を掛け合い意識する。 ・学級、学年をこえてでも、ダブルチェックを徹底する。
飲酒運転について	・飲酒の有無や帰宅方法を複数で確認する。そのためにも、普段から確認し合える雰囲気づくりを心掛ける。 ・飲酒をするときには、公共交通機関の利用、家族に送迎の依頼をする等車で行かないことを徹底する。
その他 (窃盗・非行為の隠ぺい等について)	・ストレスをため込まないよう、業務の負担感の軽減（研修時間の確保、業務の割り振り等）を図る。 ・集金等は、速やかに支払い、手元に現金を置かない。 ・すべてにおいて他人事ではなく、自分事として考え行動する。 ・保護者の方の協力を得ながら、必要な対策を講じていく。